

# 2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社 チノー  
(東証プライム : 6850)

## 1.2023年3月期 第2四半期決算

- 1) 決算ハイライト
- 2) 業績サマリー
- 3) 営業利益増減分析
- 4) 四半期別連結売上高の推移
- 5) セグメント別の業績動向
- 6) 連結貸借対照表
- 7) 地域別売上高

## 2.株主還元

## 3.トピックス

## 4.通期業績予想

# 1.2023年3月期 第2四半期決算

# 1) 決算ハイライト

2023年3月期 第2四半期 連結業績

受注高



14,182百万円

前年同期比 21.1%増



売上高



10,273百万円

前年同期比 5.8%増



受注高は、脱炭素関連（燃料電池評価試験装置や水素のエネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置）の需要拡大により大幅に増加。

売上高は、当社顧客（製造業）の設備投資が堅調に推移し、脱炭素関連の設備投資拡大により増収。

<利益面>

営業利益



538百万円

前年同期比 38.9%増



経常利益



770百万円

前年同期比 47.3%増



四半期純利益（親会社株主に帰属）



446百万円

前年同期比 78.9%増



利益は、計装システムの増収・原価率の低減等を主因とし各項目とも増益

## 2) 業績サマリー (1)

### ◇ 連結業績

(百万円)

	FY2021 2Q累計	FY2022 2Q累計	対前期増減額	対前期増減率
受注高	11,712	<b>14,182</b>	2,470	21.1%

	FY2021 2Q累計	FY2022 2Q累計	対前期増減額	対前期増減率
売上高	9,711	<b>10,273</b>	562	5.8%
売上総利益 <利益率>	3,057 <31.5%>	<b>3,338</b> < <b>32.5%</b> >	280 <1.0p>	9.2%
営業利益 <利益率>	387 <4.0%>	<b>538</b> < <b>5.2%</b> >	150 <1.2p>	38.9%
経常利益 <利益率>	522 <5.4%>	<b>770</b> < <b>7.5%</b> >	247 <2.1p>	47.3%
四半期純利益 (親会社株主に帰属) <利益率>	249 <2.6%>	<b>446</b> < <b>4.3%</b> >	197 <1.7p>	78.9%

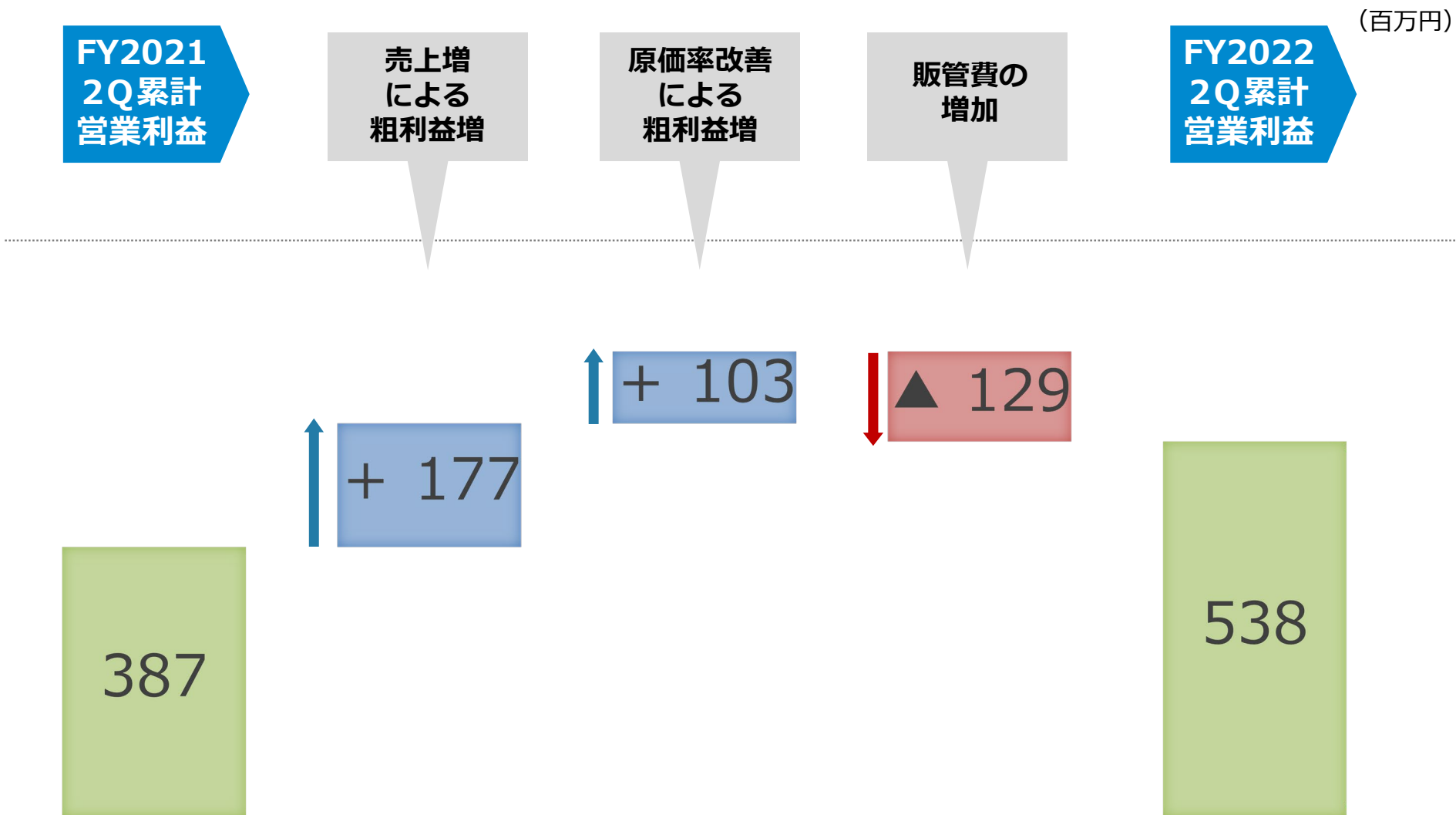
## 2) 業績サマリー (2)

### ◇セグメント別業績

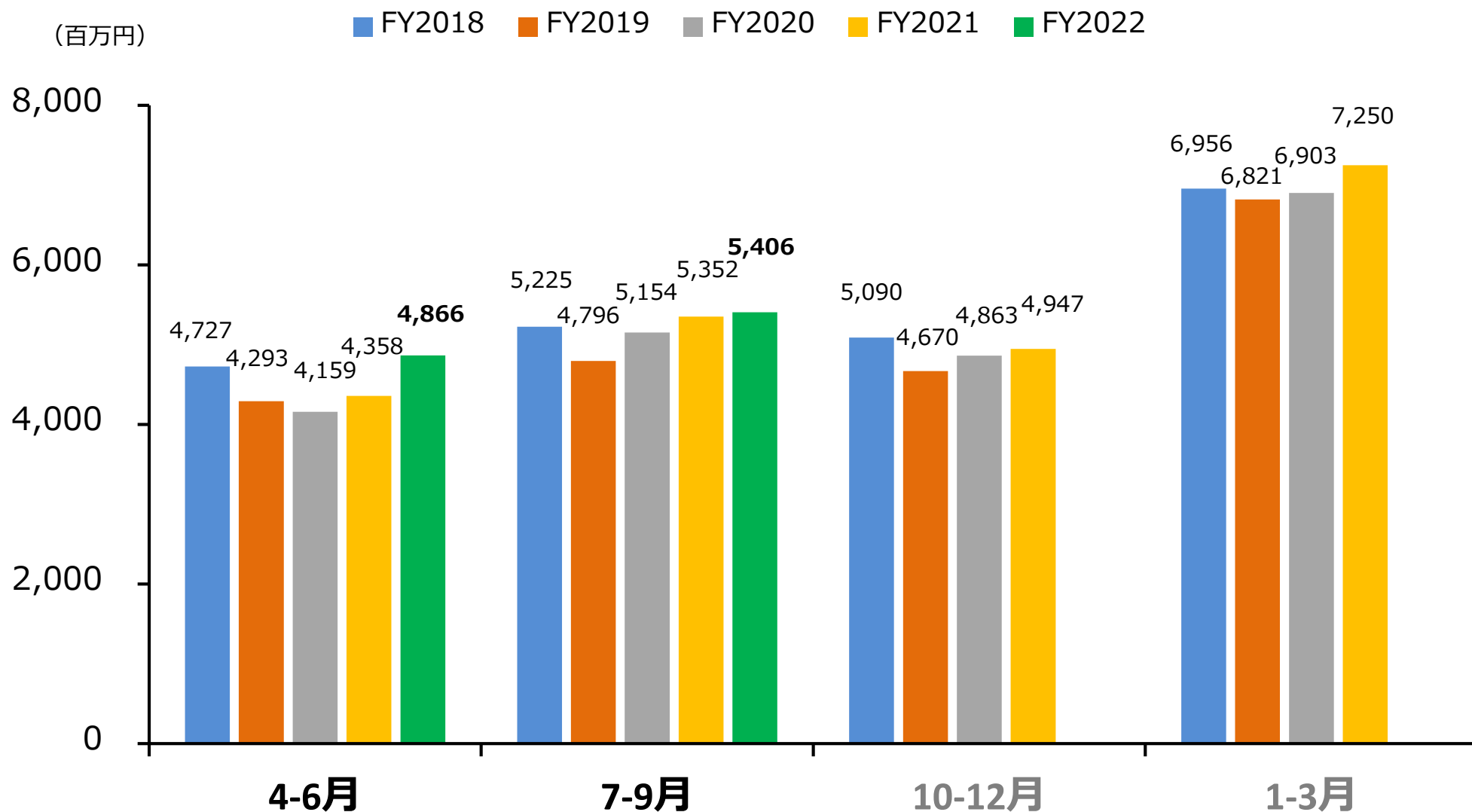
(百万円)

	受注高				売上高				セグメント利益 (営業利益)			
	FY2021 2Q累計	FY2022 2Q累計	増減額	増減率 (%)	FY2021 2Q累計	FY2022 2Q累計	増減額	増減率 (%)	FY2021 2Q累計	FY2022 2Q累計	増減額	増減率 (%)
計測制御機器	3,814	4,307	493	12.9	3,725	3,781	55	1.5	411	425	13	3.4
計装システム	4,273	5,926	1,653	38.7	2,499	2,849	350	14.0	149	363	213	142.7
センサ	3,312	3,570	258	7.8	3,107	3,208	100	3.2	572	481	▲ 91	▲ 16.0
その他	312	377	65	21.1	377	433	55	14.8	62	95	32	52.6
全社費用									▲ 808	▲ 825	▲ 17	—
合計	11,712	14,182	2,470	21.1	9,711	10,273	562	5.8	387	538	150	38.9

### 3) 営業利益増減分析



# 4) 売上高の推移





# 5) セグメント別の業績動向 ① 計測制御機器

## 損益状況

### 売上高

3,781百万円 前年同期比 1.5%増



### セグメント利益

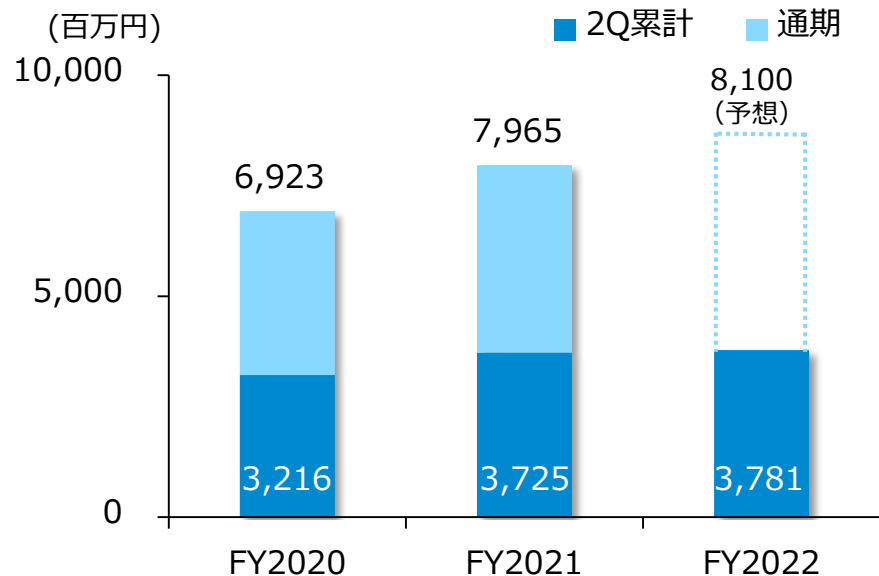
425百万円 前年同期比 3.4%増



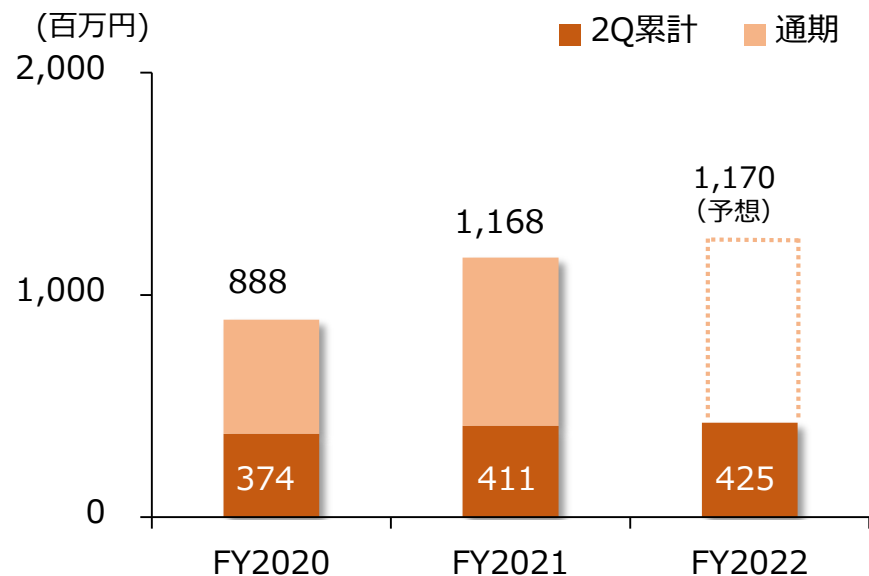
## 製品別状況

- 半導体・電子部品の製造設備や熱処理装置向けを中心に需要は堅調
- 海外市場（特に中国、韓国、インド等）の需要が伸長
- 一方で、半導体など部材の供給不足の影響により売上高およびセグメント利益の増加は小幅

### <売上高>

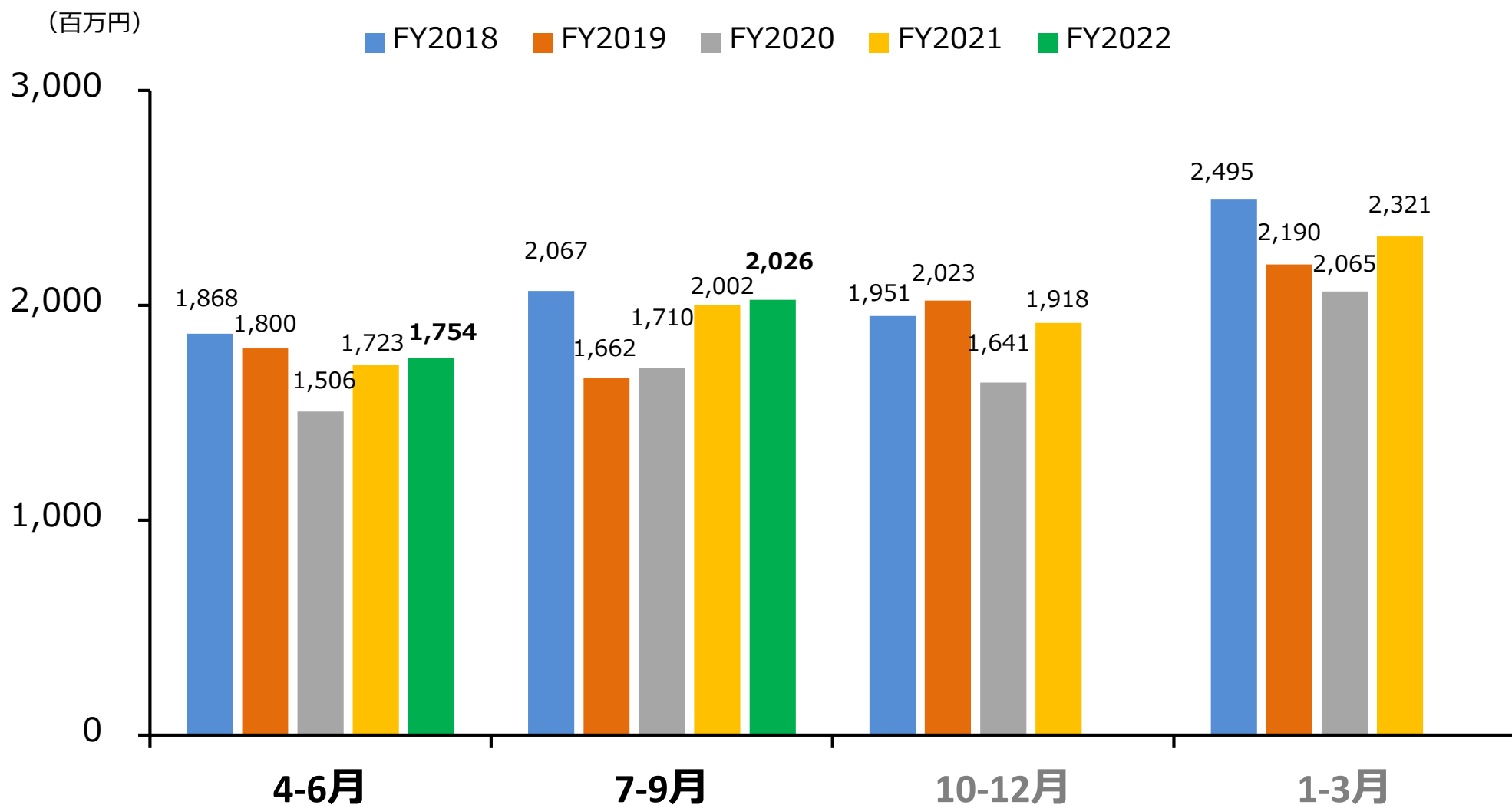


### <セグメント利益>



# 5) 売上高推移

## ① 計測制御機器



# 5) セグメント別の業績動向 ② 計装システム

## 損益状況

売上高

2,849百万円 前年同期比 14.0%増



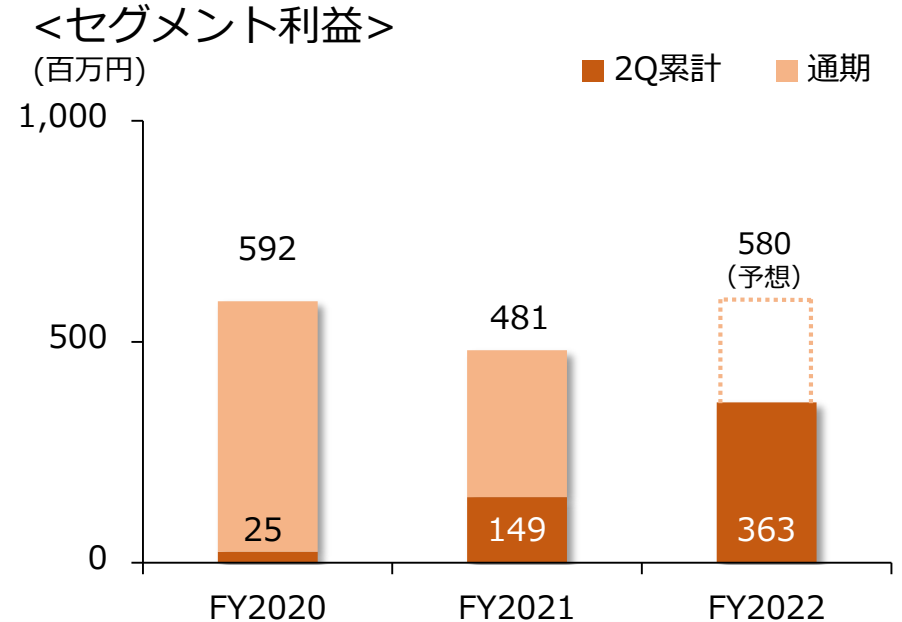
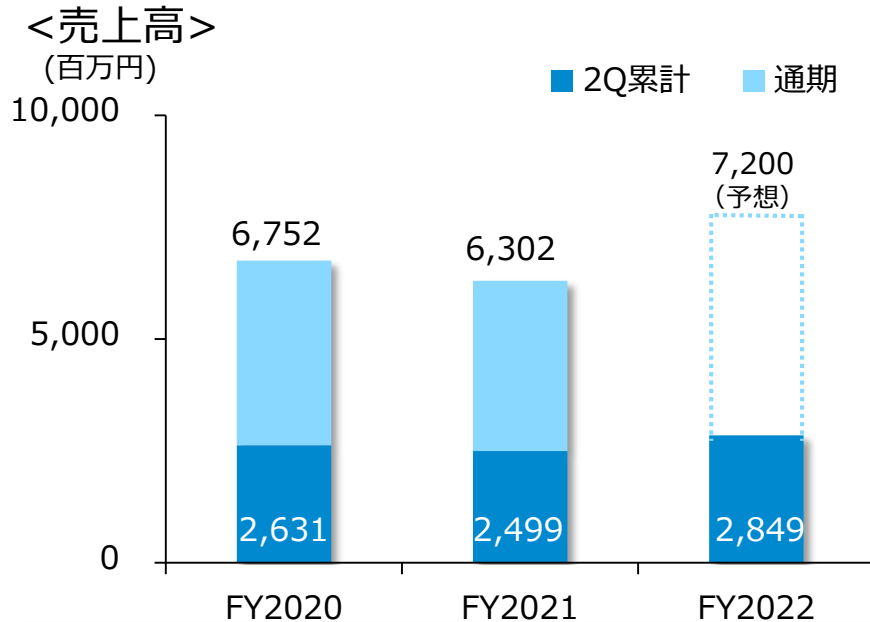
セグメント利益

363百万円 前年同期比 142.7%増

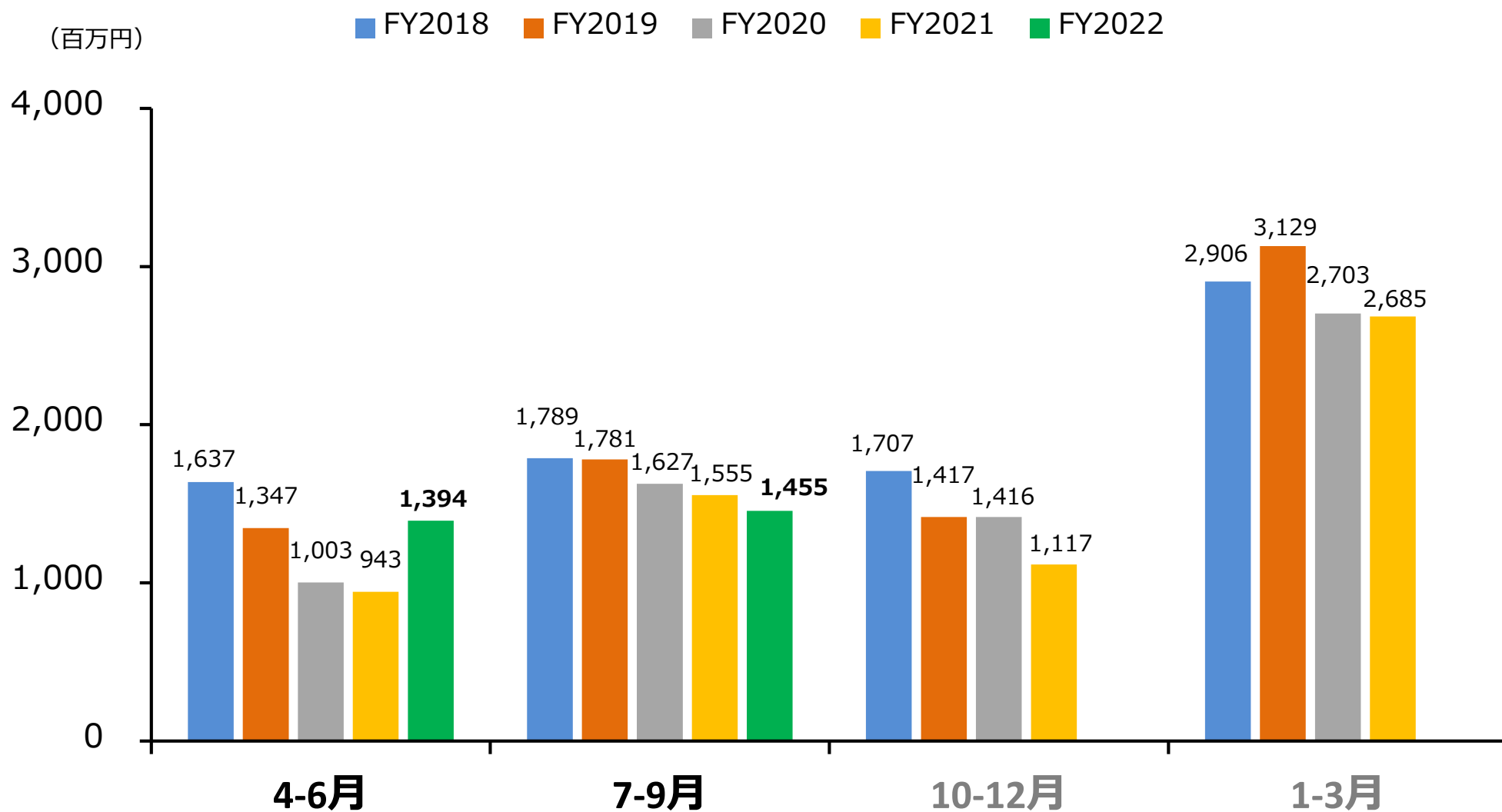


## 製品別状況

- 脱炭素関連として、自動車向けなどの燃料電池評価試験装置や、水素エネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の需要が拡大
- 電子部品関連の製造装置向けシステムは需要好調、コンプレッサー評価試験装置は売上高が回復傾向
- 前年同期比では、増収および原価率の低減等を主因とし大中増益



## 5) 売上高推移 ② 計装システム



# 5) セグメント別の業績動向 ③ センサ

## 損益状況

売上高



3,208百万円 前年同期比 3.2%増



セグメント利益



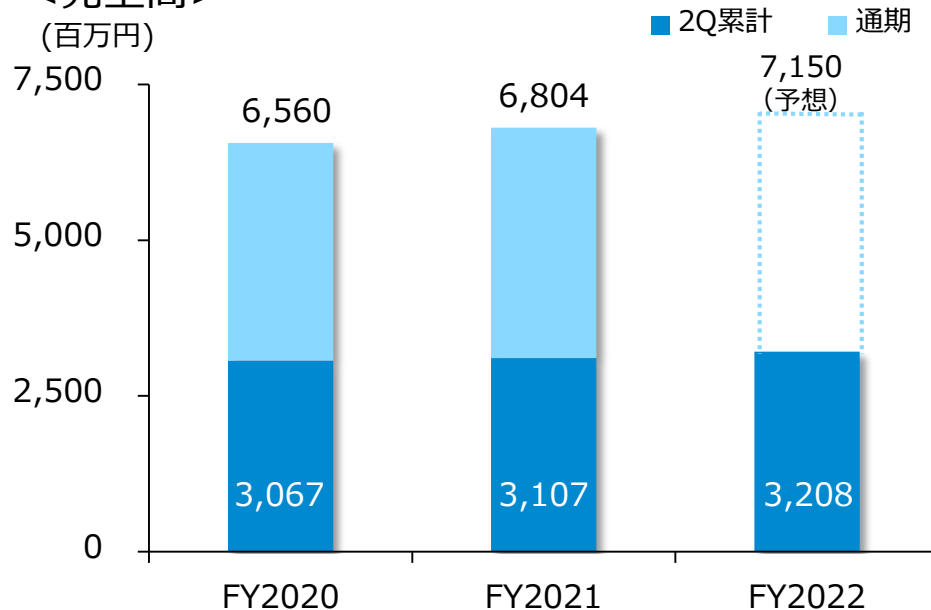
481百万円 前年同期比 16.0%減



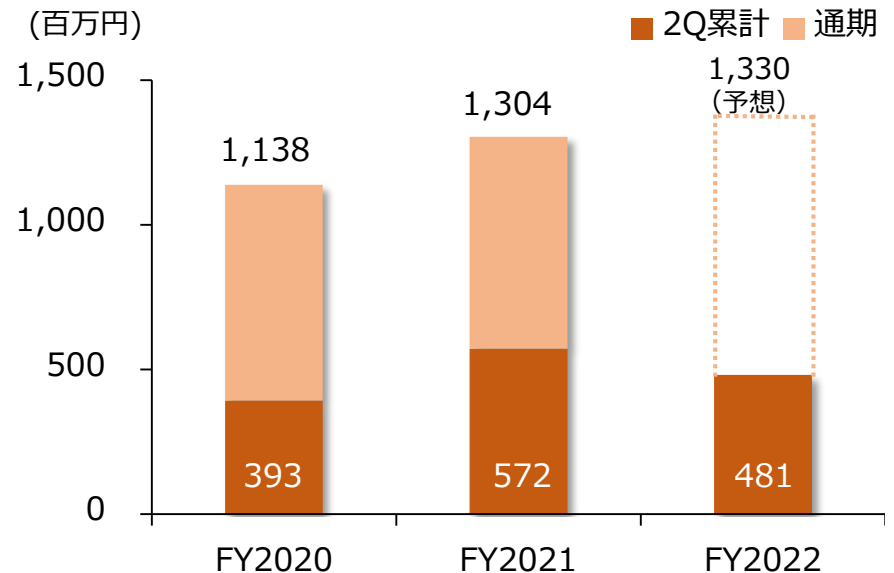
## 製品別状況

- 放射温度計、温度センサともに半導体関連の製造装置向けを中心に需要が好調
- AMS規格対応の温度センサの需要が堅調 ※AMS規格：航空宇宙産業における特殊工程の規格
- 部材価格高騰の影響等により減益

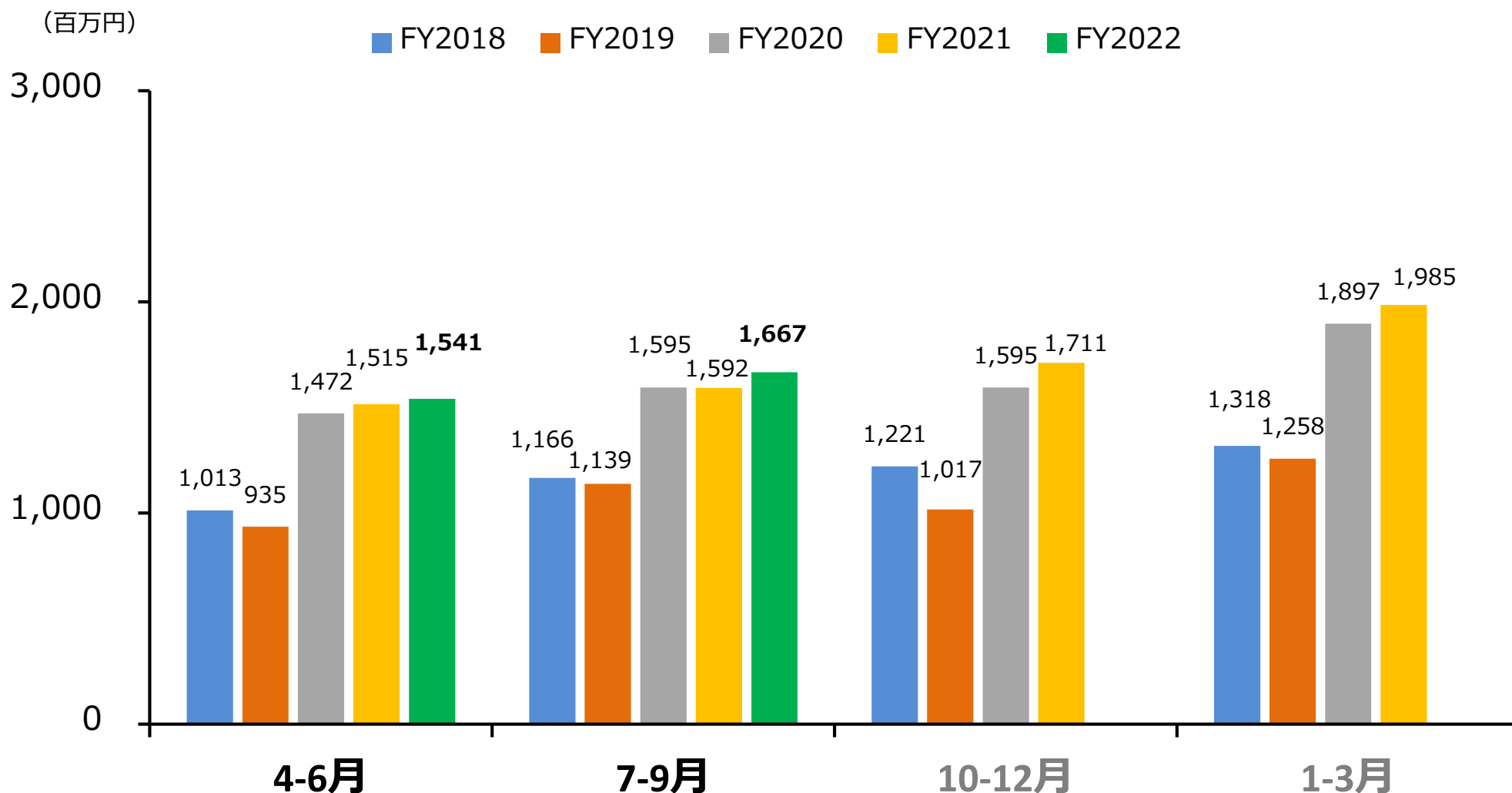
<売上高>  
(百万円)



<セグメント利益>



# 5) 売上高推移 ③ センサ



## 6) 連結貸借対照表

- 資産 売上債権が減少した一方で、現預金・棚卸資産が増加し、前期末比405百万円の増加
- 負債 長期借入金の減少等により固定負債は161百万円減少した一方で、流動負債が397百万円増加したことにより、負債合計は前期末比236百万円の増加
- 純資産 株主資本・非支配株主持分が増加し、前期末比168百万円の増加

(百万円)

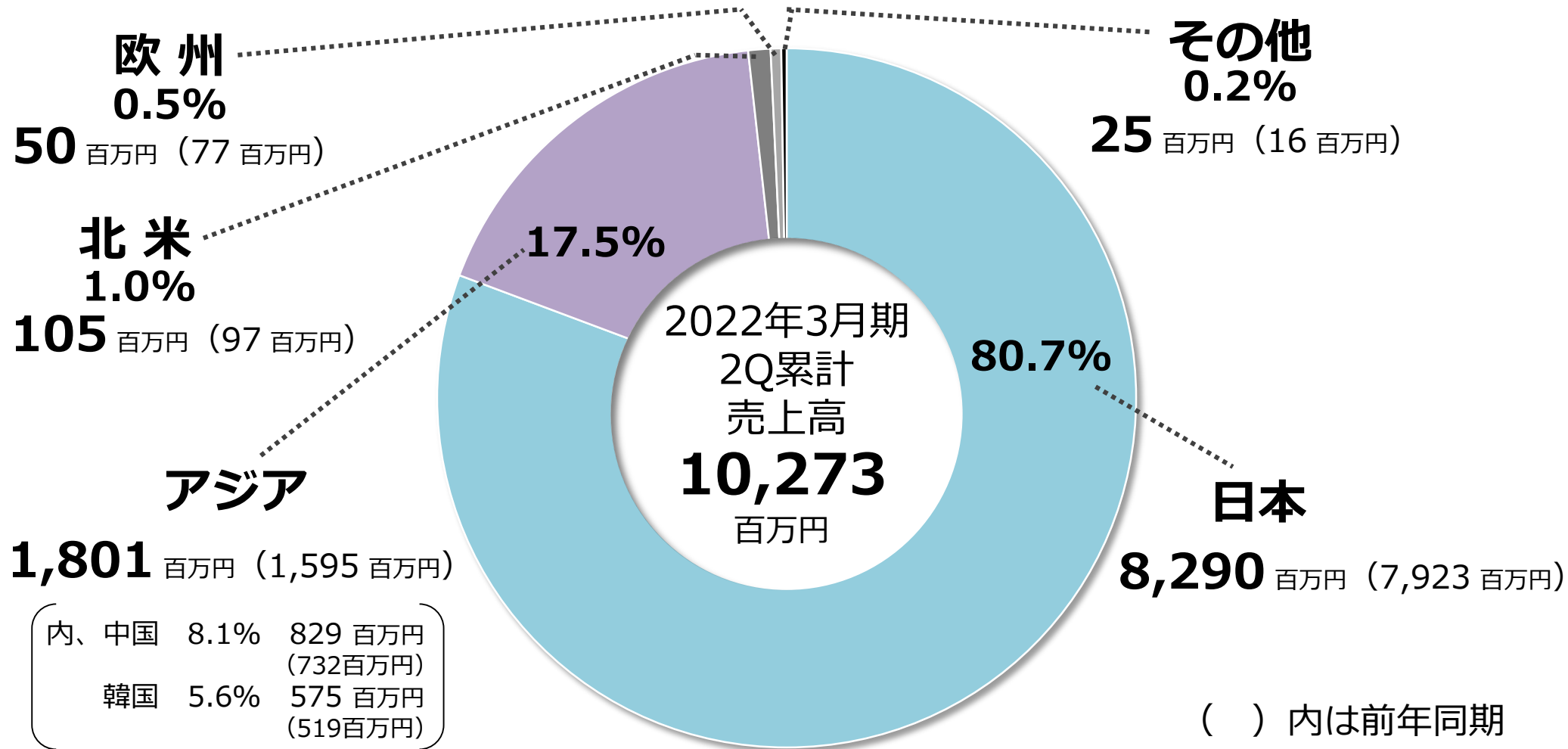
科目	2022年3月末	2022年9月末	増減
流動資産	21,681	22,379	698
現預金	7,331	7,648	316
売上債権	7,595	6,544	▲ 1,051
棚卸資産	6,578	7,983	1,405
その他	175	203	27
固定資産	9,864	9,571	▲ 292
有形固定資産	5,566	5,443	▲ 123
無形固定資産	408	414	5
投資その他の資産	3,889	3,713	▲ 175
資産合計	31,545	31,950	405

科目	2022年3月末	2022年9月末	増減
流動負債	8,216	8,614	397
仕入債務	4,511	4,255	▲ 256
短期借入金	1,640	1,639	0
その他	2,064	2,719	654
固定負債	3,177	3,016	▲ 161
長期借入金	620	432	▲ 187
その他	2,557	2,584	26
純資産	20,150	20,319	168
株主資本	17,308	17,382	74
その他の包括利益累計額	255	257	2
非支配株主持分	2,586	2,679	92
負債純資産合計	31,545	31,950	405

自己資本比率：2022年9月末 55.2%、2022年3月末 55.7%

## 7) 地域別売上高

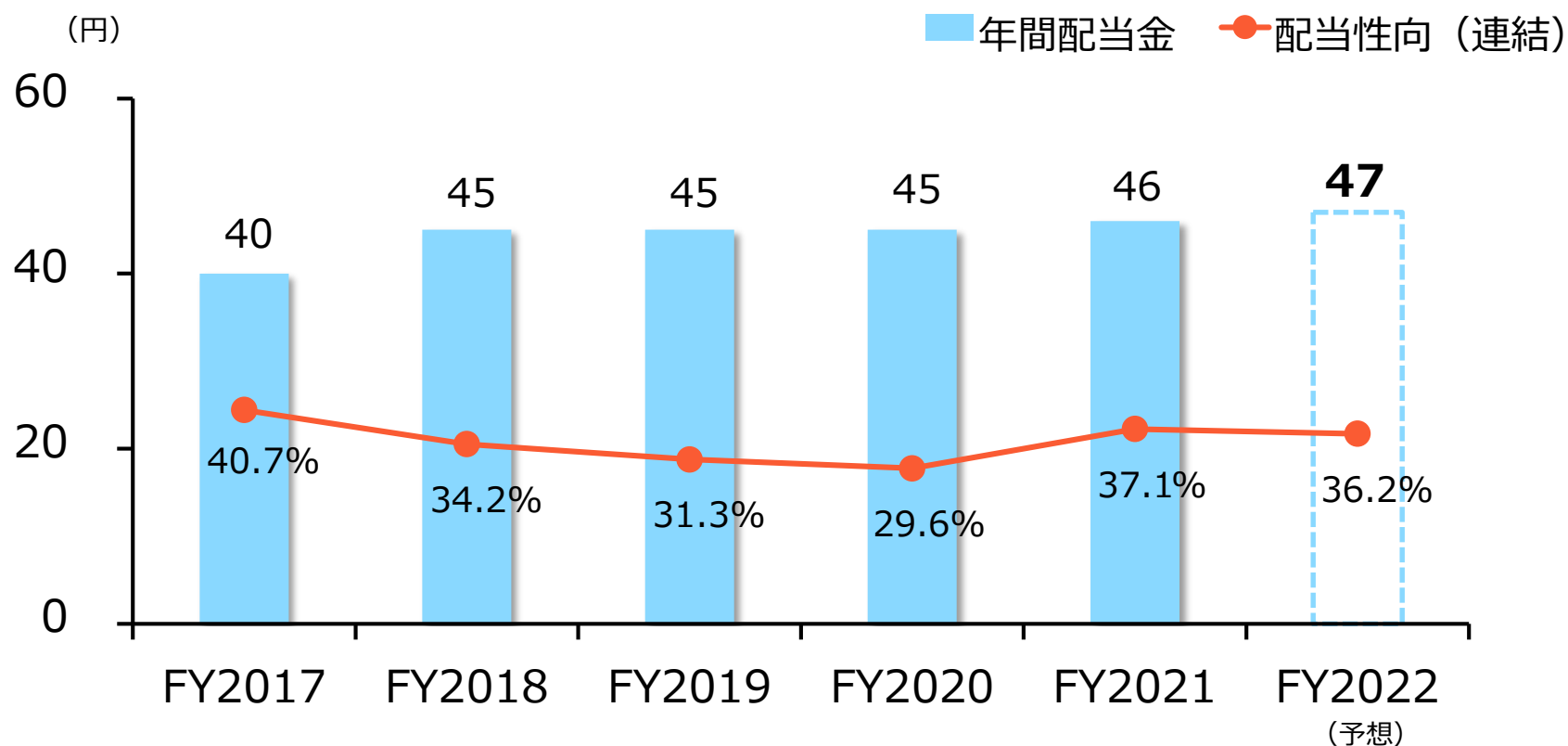
- 国内売上高は前年同期比367百万円の増収。海外売上高は前年同期比195百万円の増収（内、アジア地域(主に中国・韓国)で205百万円の増収)





## 2. 株主還元

- FY2022の1株当たり配当金（予想）は前期より1円増配の47円。
- 2016年12月から2017年5月にかけて自社株買いを120百万円（100,000株）実施。（2017年7月に自己株式の消却を300,000株実施）



# 3. トピックス



## (国内生産拠点の購入電力を100%再生可能エネルギーへ転換)

2022年7月より藤岡事業所における購入電力の再生可能エネルギーに転換が完了  
これにより本社・全ての国内生産拠点の購入電力が100%再生可能エネルギーで調達

## <事業活動におけるCO<sub>2</sub> (Scope1+2(※))排出削減>

【2022年度見込み】 2020年度対比で約70%の排出削減

【2040年度目標】 事業活動のカーボンニュートラル (事業活動におけるScope1,2  
の温室効果ガス排出量完全ゼロ)

※ Scope1 : 自社での燃料使用による温室効果ガスの直接排出量

Scope2 : 自社が購入した電力や熱の使用による温室効果ガスの間接排出量

今後も当社グループはサステナビリティ経営を推進し、事業活動を通じて  
「脱炭素社会」と「安全・安心な社会」の実現に貢献してまいります。

## 4.通期業績予想

# 通期業績予想（2022年5月13日発表から変更なし）

- 顧客（製造業）の設備投資は堅調に推移し、脱炭素社会に向けての水素関連分野の需要は今後も期待されるものの、半導体をはじめとする部材供給不足の継続、エネルギー価格の高騰、為替相場（円安）等、事業環境は不確実性が高い状況であり、2022年度の通期業績予想（2022年5月13日公表）は変更しておりません。

（百万円）

項目	FY2022 業績予想 (2022年5月13日発表)	FY2021 実績	差異	増減比 (%)
売上高	23,300	21,908	1,392	6.3
営業利益	1,550	1,499	51	3.4
経常利益	1,800	1,744	56	3.2
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,100	1,050	50	4.7

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。



---

**CHINO**